

兵庫ユニットセンター・エコチル調査にご参加いただいている皆さまへ

兵庫医科大学エコチル調査兵庫ユニットセンターでは、以下の研究を実施しています。

この研究は、「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」で得られた情報の記録を用いて実施する研究です。このような研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる参加者さんのお一人おひとりから改めて直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加を拒否できる機会を保障することとされています。

この研究に関するお問い合わせ、またご自身の情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1．研究課題名

都市の Greenness/Grayness が小児アレルギー疾患に与える影響の解明

2．研究の目的と意義

先進国を中心としてアレルギー疾患が世界的に増加傾向となっており、生活環境の変化や大気汚染による影響が指摘されています。本研究では、居住地周辺の緑化度(Greenness) / 灰化度(Grayness)によって免疫機能が向上または低下してアレルギー疾患の発症と関連する可能性を検討します。

本研究は、小児アレルギー疾患発症の機序を解明し、予防対策への活用につながることを期待されます。

3．研究の方法

居住地周辺の緑化度(Greenness) / 灰化度(Grayness)および大気汚染物質濃度は、妊娠中から 6 歳までのエコチル調査に登録いただいた住所情報から推計します。アレルギー疾患、ストレス、精神発達、身体活動に関する情報は、エコチル調査の質問票調査でご回答いただいた結果を利用させていただきます。詳細調査にも参加されている方につきましては、医学的検査、環境測定の結果も利用させていただきます。研究対象情報の取得期間は、2011 年 1 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日です。

4．個人情報の取り扱い

この研究では、エコチル調査で登録された住所情報を使用しますが、居住地周辺の緑化度(Greenness) / 灰化度(Grayness)、大気汚染物質濃度を推計した後は住所情報を削除し、推計結果のみを使用します。

解析に際して、個人情報はすべて符号によって加工された記録のみを使用し、個人が特定できる情報は入っていません。結果を公表する時は、統計学的に処理・解析された結果のみとし、個人の結果が公表されることはありません。なお、個人を特定できる情報は、施錠された場所で厳重に管理し、本研究には一切使用しません。

5．研究期間

2021 年 10 月 19 日から 2027 年 3 月 31 日まで

6．研究機関

兵庫医科大学エコチル調査兵庫ユニットセンター。

研究責任者 看護学部特命教授 島 正之

7. 問合せ先

兵庫医科大学 エコチル調査兵庫ユニットセンター
研究責任者 看護学部特命教授 島 正之

- ・電話番号: 0798-45-6636 (平日 9:00 ~ 16:45)
- ・メールアドレス: ecochild@hyo-med.ac.jp